

2025年4月13日～10月13日に大阪・夢洲で開催する「大阪・関西万博」では、若者・子どもがSDGsや環境問題について自ら主体的に考え、行動・態度変容につながるESD実践の場を会場に設けます

「ジュニアSDGsキャンプ」会場



ジュニアSDGsキャンプを実施するサステナドームは団体バスの来場者が入場する西エントランスの近くに位置しています。

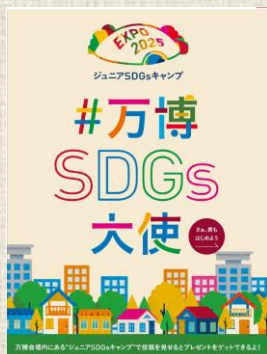


展示、SNS連動企画

SDGs、環境問題に対する国、博覧会協会、協賛者等の取組に関するデジタル展示を実施。タッチパネルPC10台から自由にのらんだいただけます。



会期前から、SNS連動企画を実施。学校での取組をSNSを通じて発信いただけます。



会場内ツアー



脱炭素や資源循環、建築など、テーマに沿ってガイドマップを作成。会場内でごらんいただけます。

また、会場内に設定するコースを周り、解説する1時間程度のツアーを実施します。

※マップに掲載の取組は予約不要の箇所です

コース例

「3R+Renewable」で
自らの未来を創造するデコ活ツアー



会場に実装された、脱炭素・資源循環に関する取り組みについて見学

- ・3Rステーション(資源循環)
- ・サブストックヤード(資源循環)
- ・リユース食器(資源循環)
- ・EVバス(脱炭素)
- ・給水スポット、マイボトル洗浄機(資源循環)

体験型プログラム

■参加対象者 小学生～高校生

■参加者数 40名／回

■費用 無料

(大阪・関西万博の入場料は別途必要です)

プログラムの例 Program example	海外の人と環境問題について議論しよう インドネシア編	海外の人と環境問題について議論しよう スイス編
海外の子どもたちと環境問題について議論しよう キリバス編	発泡スチロールを通して環境問題・SDGsを考えよう	ごみ分別ボードゲーム「Hokasu」でごみ・環境問題を学ぼう!!
屋台でも使える? リユース食器について学ぼう	ペットボトルがペットボトルになって戻ってくる?	二酸化炭素(CO ₂)を吸いこむコンクリート?

環境問題、SDGsについて、博覧会協会、企業、NPO、大学ゼミ等が制作した体験型プログラムを実施します。(学校・クラス単位での参加、個人での参加、予約の必要有無など、プログラムによって異なります。日程についてはご相談に応じます。)

博覧会協会が実施する環境技術に関するプログラムは事前学習の教材をご提供します。一部プログラムは国際交流要素あり。

(例 事前学習→海外の方と議論・意見交換→事後学習)

ご関心のある方は
ぜひ担当までお問い合わせください。

お問い合わせ(連絡先)

2025年日本国際博覧会協会 企画局 持続可能性部
担当: 仲秋(なかあき)、塚場(あきば)

E-mail : jizoku-kikaku@expo2025.or.jp



(QRコードからメールを送れます)